

メッセージ

地方メーデー実行委員会 御中

メーデーに参加されたみなさん

第93回メーデーは「コロナ禍」という困難を乗り越え、多くの地方で参加者を交えてのリアル開催にこぎつけました。3年ぶりのリアル開催を心から祝い、通常メーデー開催への足掛かりとしていこうと奮闘する全国の仲間に関連の熱い拍手を送ります。

今回のメーデーは「コロナ禍」で「たたかうメーデー」の継承発展と「組合員のいのちと健康、安全」を最優先し、コロナ最前線で働くケア労働者の大幅賃上げと処遇改善、医療提供体制・公衆衛生体制の拡充など「軍事費を削ってコロナ対策にまわせ」の世論と運動をすすめてきました。22年春闘のたたかいを通じて、まだまだ不十分ながらも賃上げや処遇改善、休業・生活支援など雇用対策の拡充を勝ち取ってきています。

メーデー参加のみなさん

ロシアによるウクライナ軍事侵略は国際的平和秩序を崩し、世界的緊張関係を増幅させました。ウクライナ国民の日常生活を奪い、家を失い故郷を追われています。さらに無差別な残虐行為・蛮行に世界から非難の声が集中しています。国内では「ウクライナ問題」に便乗し、敵基地攻撃能力の保有をはじめ「核共有」「非核三原則見直し」、軍事費のGDP2%論など改憲勢力の策動も強まっています。一方、6月にはウィーンで核兵器禁止条約締約国会議が予定され、会議の成功と戦争被爆国・日本政府のオブザーバー参加、条約批准を強く求めていく取り組みも重要となってきました。さらにコロナ危機に加え、物価高騰が国民のくらしと中小企業経営を直撃、日本経済は先の見えない苦境に陥っています。

私たちは政府に対し、日本経済の危機に直面する今、消費税の5%減税をはじめインボイス中止、大企業の内部留保課税、雇用調整助成金特例措置の延長や生活困窮者への支援などを含む緊急経済対策を求めていきます。また参議院選挙での市民と野党共闘の前進を勝ち取り、要求実現と政治転換の流れを築きあげていくことを強くよびかけます。

メーデー参加のみなさん

世界の労働者と連帯し、ロシアの軍事侵略の即時中止、ウクライナへの人道支援を強めていきましょう。

8時間働いて普通に暮らせる社会の実現をめざしていきましょう。

働くものの団結万歳！ 世界の労働者万歳！メーデー万歳！

2022年5月1日

第93回中央メーデー実行委員会

